

## ロータリー理解推進月間 (Rotary Awareness Month)

### 理解推進月間に寄せて

1月は「ロータリー理解推進月間」です。これは会員にロータリーについての知識と理解を一層深めてもらい、同時にロータリアン以外の方々にもロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間で、1988年1月に始まりました。

ロータリアンがロータリーのことを理解し、よく知る必要があるのは当然ですが、それでは、具体的にどのような方法で勉強すれば良いのか、先達たちのご経験から参考になる方法をまとめてみました。

#### ① 体で覚える方法

週1回の例会はもとより、親睦会、奉仕活動、IM、地区大会のほか、近隣クラブへのメーキャップなど、あらゆる機会に出席することは、ロータリアンの特権であり、ロータリーを知る最善の勉強法でもあること。

#### ② 文献による方法

ロータリーの雑誌「The Rotarian」は英語が出来ないと無理。

手続要覧(Manual of Procedure)は、ロータリー全般に関する基本事項、例えばRIの方針、運営方針、手続などを記載した「ロータリアンの手引き」で、3年毎に開かれる規定審議会の終了後に発行されます。RI組織規定文書も収められています。

ただ、「手続要覧」は六法全書を読む感じでなじめないと、結局、純国産の「ロータリーの友」を毎月熟読することをお勧めします。

#### ③ 先輩の話を聞く方法

芸事やスポーツでは、習い初めに良い師匠に就くことが上達の早道と言われますが、ロータリーとて例外ではありません。我がクラブには、パストガバナーを始め、ガバナー補佐、会長経験者など、後進指導に熱意ある先輩方が大勢いらっしゃいます。さまざまな機会に先輩方に教を乞うて下さい。

#### ④ 対話する方法

多少ロータリーのことを判ってきましたら、自分なりに感じ、考えたことを率直に先輩に向かって話すことです。

ロータリーとは何かという答えは、ロータリアンの数だけあると言われますが、その基礎は「ロータリーの目的」であり、「奉仕の理想」である思いやりと助け合いの心をいかに実践するかによって決まると考えられます。

昨今の食品偽装など、企業の反社会的行為は誠に由々しき問題で、ロータリー理解推進の逆を行くものです。いやしくも「職業奉仕」を学んだロータリアンなら、自らの職業において斯かる行為をすることはあり得ないことです。こうした意味からも、ロータリアンに対する「ロータリー理解推進」の重要性が今ほど高まっている時はないのではないのでしょうか。

(文責 丹治正博)